

資料 2 : アンケート実施に関する資料
(質問一覧、依頼文等)

法科大学院及び法科大学院修了生

令和4年10月14日

法科大学院を設置する
各国公立私立大学長 殿

株式会社ブレインアカデミー
データサイエンスセンター
「法科大学院等の教育の充実に
関する調査研究」事務局

令和4年度先導的大学改革推進委託事業
『法科大学院等の教育の充実に関する調査研究』
法科大学院・修了生対象アンケート調査へのご協力について（依頼）

貴校におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。文部科学省から令和4年10月12日付事務連絡「法科大学院等の教育の充実に関する調査研究」について（依頼）」にて事前にご連絡させていただいておりますが、この度文部科学省の委託事業として、法科大学院で学修する意義や各法科大学院の魅力や特徴について、その内容を把握し広く社会に発信していくことを目的として、法科大学院およびその修了生に対してアンケート調査を実施することといたしました。

ご多忙の折、大変お手数をお掛けいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

記

1. 調査の目的

本調査は法科大学院に関する興味関心の向上や法科大学院志望者の増加につなげていくため、法科大学院教育における学びや有益性および各法科大学院の魅力や特徴についてわかりやすく社会に発信していくことを目的として、各法科大学院の魅力や特徴的な取組について法科大学院およびその修了生にお伺いするものです。

2. 調査の概要

- (1) 調査主体：文部科学省
- (2) 調査受託事業者：株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター
- (3) 実施する調査：下記①②の調査を実施
 - ① 法科大学院対象のアンケート調査
 - ② 法科大学院修了生対象のアンケート調査

また、上記①②のアンケート実施後、調査結果をもとに各法科大学院へのヒアリング調査の実施を予定しています。そちらについては、また別途ご連絡いたします。

(4) 回答期限：

調査①法科大学院対象のアンケート調査：令和4年10月31日

調査②法科大学院修了生対象のアンケート調査：令和4年11月7日

※②法科大学院修了生対象のアンケート調査については、回収状況次第で期間を延長させていただくことも検討しています。

(5) 調査方法：

調査①②ともに web 回答フォームによるアンケート調査

3. 依頼事項

① 法科大学院対象のアンケート調査

下記 URL よりアンケート調査への回答をお願いいたします。

なお、質問内容については別紙1（法科大学院対象_質問項目一覧）をご確認ください。
（回答期限：令和4年10月31日）

<https://questant.jp/q/08DWXT7Z>

※アンケート回答上の注意事項※

- ・ 途中で回答を保存することができませんのでご注意ください。
- ・ 1度限りの回答となりますので、送信した回答に修正が必要な場合は「4.本件問合せ先」にご連絡ください。

② 法科大学院修了生対象のアンケート調査

次の案内方法に関する例をご参照いただき、貴校修了生の方々へアンケートをご案内くださいますようお願いいたします。（修了生への案内文は別紙2をご参照ください）。

・ **貴校法科大学院修了生へのメール配信でのご案内**

貴校法科大学院修了生の個人メールアドレス、修了生メーリングリスト等をお持ちでしたら、別紙2（修了生に対するアンケート案内文）の内容をメール本文に記載し、併せて別紙2の PDF ファイルを添付にてご送付、ご案内いただきますようお願い申し上げます。

・貴校法科大学院のホームページ（もしくは修了生向けサイト）でのご案内

貴校法科大学院のホームページもしくは修了生向けのサイト等がございましたら、別紙2（修了生に対するアンケート案内文）の内容、もしくは別紙2のPDF ファイルをご掲載の上、ご案内いただきますようお願い申し上げます。

・貴校法科大学院同窓会等でのご案内

貴校法科大学院修了生の同窓会（公式・非公式問わず）がございましたら、同窓会長様もしくは幹事様より、別紙2（修了生に対するアンケート案内文）の内容をメール本文に記載し、併せて別紙2のPDF ファイルを添付にてご送付、ご案内いただきますようお願い申し上げます。

・貴校法科大学院在籍の教授・講師の方々よりご案内

貴校法科大学院在籍の教授・講師の方々で、修了生のご連絡先をご存知の方がいらっしゃいましたら、別紙2（修了生に対するアンケート案内文）の内容もしくは別紙2のPDF ファイルをメールでご案内いただくか、アンケートの案内を印刷の上、ご案内いただきますようお願い申し上げます。

※できるだけ多くの修了生の回答を得られるよう、複数のルートから修了生に本アンケートを周知、ご案内いただくことが重要と考えております。

※回答期限は令和4年11月7日とさせていただきますが、一定の回答が集まらない場合は回答期間を延長の上、再度修了生へのアンケート調査の依頼をお願いする場合がございます。

4. 本件問合せ先

株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター

「法科大学院等の教育の充実に関する調査研究」事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-1 KOJIMACHI TERRACE 11F

TEL：03-6380-8255

MAIL：info-ds@brainacademy.co.jp

（担当者：金子・片岡）

以上

（別紙1）「法科大学院対象_質問項目一覧」

（別紙2）「修了生に対するアンケート案内文」（word版、PDF版）

（別紙3）「法科大学院修了生対象_質問項目一覧」

【法科大学院修了生対象】法科大学院の教育充実に関する調査

この度、文部科学省 令和4年度先導的大学改革推進委託事業「法科大学院等の教育の充実に関する調査研究」の一環としてアンケート調査が行われることとなりました。当該調査は、法科大学院で学修することの意義や、各法科大学院の魅力や特徴を把握することを目的としています。

つきましては、法科大学院を修了生された皆様についても、アンケート調査へご協力いただきたく、次の通りご案内させていただきます。ご多忙の折、大変恐れ入りますが、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

記

1 アンケートの回答方法

アンケートのご回答は、以下 QR コードまたは URL から、Web アンケートページにアクセスいただき、ご回答くださいますよう、お願い申し上げます。



URL : <https://questant.jp/q/50NI4K2J>

回答期限 : 令和4年11月7日(月)

※重複してアンケートの依頼が届いている場合、一度のみ回答いただきますようお願いいたします。また、回答は途中で保存できませんのでご注意ください。

2 その他

本調査は文部科学省から委託を受け、株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンターが実施いたします。ご不明点等があれば問合せ先までご連絡ください。

【本調査に関するお問合せ先】

株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター

MAIL : info-ds@brainacademy.co.jp

TEL : 03-6380-8255 (月～金 10:00～17:00)

(担当者 : 金子・片岡)

② 法科大学院修了生対象のアンケート調査 質問項目一覧

質問番号	項目	質問文	選択肢
1	法科大学院教育の満足度・魅力	修了した法科大学院の満足度について、当てはまるものを選択してください。	①非常に満足 ②満足 ③どちらとも言えない ④不満 ⑤非常に不満
2	法科大学院教育の満足度・魅力	満足度について、その理由を記載してください。	自由記述
3	法科大学院教育の満足度・魅力	修了した法科大学院の魅力として当てはまるものを選択してください。(複数回答)	①教育内容・カリキュラム ②教授等の教員体制 ③施設・設備 ④教育支援 ⑤奨学金等の経済的支援 ⑥キャリアサポート ⑦卒業後の就職支援 ⑧人的ネットワークの構築 ⑨その他【】 ⑩特になし
4	法科大学院教育の満足度・魅力	上記質問で選択した法科大学院の魅力について、具体的にどのような点を魅力に感じたか記載してください。	教育内容・カリキュラムについて：自由記述 その他の内容について：自由記述
5	法科大学院を選ぶ際に重視した点	法科大学院を検討する際に重視した点として、当てはまるものを選択してください。(複数回答)	①教育内容・カリキュラム ②教授等の教員体制 ③施設・設備 ④教育支援 ⑤奨学金等の経済的支援 ⑥キャリアサポート ⑦卒業後の就職支援 ⑧人的ネットワークの構築 ⑨司法試験合格率 ⑩出身大学の大学院 ⑪その他【】 ⑫特になし
6	法科大学院を選ぶ際に重視した点	上記質問で選択した法科大学院を検討する上で重視した点について、具体的にどのような点を重視したか記載してください。	自由記述
7	教育内容・方法	法科大学院の授業の方法として、自身にとって有効であったと考えることを選択してください。(複数回答)	①少人数制の授業 ②教員や他の学生との双方向授業 ③ケーススタディ ④エクスターンシップ等実務が体験できるような授業 ⑤研究者教員と実務家教員が共同で行う授業 ⑥⑤は除いた実務家教員による授業・指導 ⑦その他【】
8	教育内容・方法	法科大学院を修了して、身に付いたと思う能力・資質を選択してください。(複数回答)	①判例分析の能力 ②判例・法令調査の能力 ③具体的な事案に法律を適用する能力 ④プレゼン・発表等のスキル ⑤説得・交渉の能力 ⑥幅広い教養 ⑦柔軟な思考力 ⑧人権感覚、倫理感覚 ⑨社会や人間関係に対する洞察力 ⑩その他【】
9	学修サポート	学修の支援として、自身が実際に利用したことのある制度・取組を選択してください。(複数回答)	①補助教員(チューター、アカデミック・アドバイザー等) ②クラス担任制 ③オフィスアワー ④補講クラス ⑤集中講義 ⑥オンデマンド教材 ⑦復習用教材 ⑧反転授業 ⑨学修状況に応じた個別指導 ⑩その他制度・取組【】 ⑪いずれも利用していない
10	学修サポート	【質問9「⑩いずれも利用していない」以外の回答者に質問】 また、学修の支援として利用した制度・取組のうち、役に立ったと思う制度・取組を選択してください。(複数回答)	①補助教員(チューター、アカデミック・アドバイザー等) ②クラス担任制 ③オフィスアワー ④補講クラス ⑤集中講義 ⑥オンデマンド教材 ⑦復習用教材 ⑧反転授業 ⑨学修状況に応じた個別指導 ⑩その他制度・取組【】 ⑪役に立ったものはない
11	学修サポート	【質問9「⑩いずれも利用していない」以外の回答者に質問】 上記質問で選択した制度・取組について、なぜ役に立ったと思うのか記載してください。 (複数選択した方は、選択したすべての制度・取組または最も役に立ったと思う制度・取組について記載してください)	自由記述
12	キャリア支援	修了した大学院のキャリア支援に対する満足度として当てはまるものを選択してください。	①非常に満足 ②満足 ③どちらとも言えない ④不満 ⑤非常に不満

【法科大学院修了生対象】

質問番号	項目	質問文	選択肢
13	キャリア支援	修了した法科大学院のキャリア支援の取組のうち、参加・活用したことがあるものを選択してください。(複数回答)	①インターンや採用等に関する情報提供 ②就職ガイダンス(就職活動全般に関する内容) ③法律事務所や企業等の就職説明会 ④修了生・実務家等との座談会・就職相談会 ⑤職員・教員による就職相談 ⑥OB・OG訪問のサポート ⑦その他取組【】 ⑧いずれも参加・活用していない
14	キャリア支援	【質問13「⑦いずれも参加・活用していない」以外の回答者に質問】 参加・活用したキャリア支援の取組のうち、役に立ったと思うものを選択してください。(複数回答)	①インターンや採用等に関する情報提供 ②就職ガイダンスの実施(就職活動全般に関する内容) ③法律事務所や企業等の就職説明会の開催 ④修了生・実務家等との座談会・就職相談会の実施 ⑤職員・教員による就職相談 ⑥OB・OG訪問のサポート ⑦その他取組【】 ⑧役に立ったものはない
15	キャリア支援	【質問13「⑦いずれも参加・活用していない」以外の回答者に質問】 上記質問で選択した取組について、なぜ役に立ったと思うのか記載してください。 (複数選択した方は、選択したすべての取組または最も役に立ったと思う取組について記載してください)	自由記述
16	人的ネットワーク	在学時にできた人的ネットワークはその後の仕事に役に立っていますか。	①仕事でとても役立っている ②仕事で役立っている ③仕事にはそれほど役立っていない
17	人的ネットワーク	上記質問の選択肢を回答した理由および役に立っている場合は具体例を記載してください。	自由記述
18	法科大学院に求められること	今後法科大学院に必要と考えられることについて記載してください。 (複数回答)	①特定の科目の充実、単位増加 ②グローバルに活躍できる法曹の養成のための科目の充実 ③企業法務に強い法曹の養成のための科目の充実 ④修了生や現役法曹を対象とした継続学習プログラムの充実 ⑤一般の社会人を対象としたリカレント教育の実施 ⑥自宅等の遠方や授業時間外でも受講可能な授業の実施(ICTを活用した授業など) ⑦法学未修者教育の充実 ⑧他の法科大学院との連携 ⑨飛び入学・早期卒業制度の充実 ⑩奨学金の充実・授業料減免 ⑪その他【】
19	基本情報	修了した法科大学院の大学名・研究科名・専攻名	大学名： 法科大学院の研究科名： 専攻名：
20	基本情報	性別	①男性 ②女性 ③その他・答えたくない
21	基本情報	年代	①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代以上
22	基本情報	未修・既修	①未修 ②既修
23	基本情報	法科大学院入学前の社会人経験の有無	①有 ②無
24	基本情報	【質問23(社会人経験の有無)「①有」の回答者のみに質問】 在学時の職務	①働きながら法科大学院に在籍(法科大学院入学から修了まで勤務継続) ②退職・休職等学業に専念する形で在籍(在学中の退職・休職を含む) ③その他【】
25	基本情報	法曹資格	①有 ②無
26	基本情報	司法試験の受験回数	①1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回
27	基本情報	現在の勤務地	①国内 ②海外
28	基本情報	現在の勤務先	①法律事務所 ②裁判所 ③検察庁 ④中央省庁 ⑤地方公共団体 ⑥民間企業(法務部門) ⑦民間企業(法務部門以外) ⑧非営利機関 ⑨司法修習中 ⑩未就業 ⑪その他【】
29	基本情報	【質問28(勤務先)「⑥の民間企業」回答者のみに質問】 業種	自由記述
30	基本情報	法科大学院の修了年	西暦 年度修了
31	基本情報	奨学金や入学金・学費免除等の経済的負担軽減のための制度利用	①利用した ②利用していない
32	基本情報	法科大学院を目指した時期	①高校時代 ②大学1年次 ③大学2年次 ④大学3年次 ⑤大学4年次 ⑥その他【】

【法科大学院修了生対象】

質問番号	項目	質問文	選択肢
33	基本情報	修了した法科大学院を知ったきっかけ	①学部教員 ②パンフレット ③HP ④親、友達、知り合い ⑤本・雑誌 ⑥その他【】
34	基本情報	後日ヒアリング調査を実施する場合の協力の可否 (「①協力可」を選択した方には、後日オンラインでのヒアリング調査を依頼する場合があります。)	①協力可 ②協力不可
35	基本情報	【質問34「①協力可」回答者のみに質問】 氏名およびヒアリング調査を依頼する際の連絡先(メールアドレス)	氏名: メールアドレス:

法曹コース及び法曹コースの学生

令和4年10月14日

法曹コースを設置する
各国公私立大学学長 殿

株式会社ブレインアカデミー
データサイエンスセンター
「法科大学院等の教育の充実に
関する調査研究」事務局

令和4年度先導的大学改革推進委託事業
『法科大学院等の教育の充実に関する調査研究』
法曹コース・コース学生対象アンケート調査へのご協力について（依頼）

貴学におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。文部科学省から令和4年10月12日付事務連絡「法科大学院等の教育の充実に関する調査研究」について（依頼）にて事前にご連絡させていただいておりますが、この度文部科学省の委託事業として、法曹コース・法科大学院で学修する意義や各法曹コースの魅力や特徴について、その内容を把握し広く社会に発信していくことを目的として、法曹コースおよび法曹コースの学生に対してアンケート調査を実施することといたしました。

ご多忙の折、大変お手数をお掛けいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

記

1. 調査の目的

本調査は法曹コース・法科大学院に関する興味関心の向上やその先の法曹志望者の増加につなげていくために、法曹コースで学修する意義や各法曹コースの魅力や特徴について把握しわかりやすく社会に発信していくことを目的として、各法曹コースの魅力や特徴的な取組について法曹コースおよび法曹コースの学生にお伺いするものです。

2. 調査の概要

- (1) 調査主体：文部科学省
- (2) 調査受託事業者：株式会社ブレインアカデミー
- (3) 実施する調査：下記①②の調査を実施
 - ① 法曹コース対象のアンケート調査
 - ② 法曹コースの学生対象のアンケート調査

また、上記①②のアンケート実施後、調査結果をもとに各法曹コースへのヒアリング調査の実施を予定しています。そちらについては、また別途ご連絡いたします。

(4) 回答期限：

調査①法曹コース対象のアンケート調査：令和4年10月31日

調査②法曹コースの学生対象のアンケート調査：令和4年11月7日

※②法曹コースの学生対象のアンケート調査については、回収状況次第で期間を延長させていただくことも検討しています。

(5) 調査方法：

調査①②ともに web 回答フォームによるアンケート調査

3. 依頼事項

① 法曹コース対象のアンケート調査

下記 URL よりアンケート調査への回答をお願いいたします。

なお、質問内容については別紙1（法曹コース対象_質問項目一覧）をご確認ください。
（回答期限：令和4年10月31日）

<https://questant.jp/q/ZFAWJOQV>

※アンケート回答上の注意事項※

- ・途中で回答を保存することができませんのでご注意ください。
- ・1度限りの回答となりますので、送信した回答に修正が必要な場合は「4.本件問合せ先」にご連絡ください。

② 法曹コースの学生対象のアンケート調査

現在貴法曹コースに在学している学生に対して、下記ご参照いただき、アンケートへの回答依頼をお願いいたします。（本アンケートの案内文は別紙2に記載しております）また、法曹コースへの登録制を採用していない等、法曹コースの在籍学生が明確ではない場合については、法学部の学生全体にご案内いただき、法科大学院（既修者コース）へ特別選抜での進学を目指し、履修登録を行っている学生のみ回答いただくようご指示ください。

・メール配信でのご案内

別紙2（法曹コースの学生に対するアンケート案内文）の内容をメール本文に記載し、併せて別紙2の PDF ファイルを添付にてご送付、ご案内いただきますようお願い申し上げます。

・法曹コースの授業でのご案内

法曹コースの学生が履修している授業にて、メールで本調査を依頼している旨を周知いただくか、別紙2（法曹コースの学生に対するアンケート案内文）を印刷の上、配布いただきますようお願い申し上げます。

・法曹コース在學生（法学部在學生）向けのホームページ等のご案内

貴法曹コースの在學生もしくは法学部の在學生向けのホームページ・サイト等にて、別紙2（法曹コースの学生に対するアンケート案内文）の内容、もしくは別紙2のPDFファイルをご掲載の上、ご案内いただきますようお願い申し上げます。

※なお、回答期限は令和4年11月7日とさせていただいておりますが、一定の回答が集まらない場合は回答期間を延長の上、再度法曹コースの学生へのアンケート調査の依頼をお願いする場合がございます。

4. 本件問合せ先

株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター
「法科大学院等の教育の充実に関する調査研究」事務局
〒102-0083
東京都千代田区麹町 3-1 KOJIMACHI TERRACE 11F
TEL：03-6380-8255
MAIL：info-ds@brainacademy.co.jp
（担当者：金子・片岡）

以上

（別紙1）「法曹コース対象_質問項目一覧」

（別紙2）「法曹コースの学生に対するアンケート案内文」（word版、PDF版）

（別紙3）「法曹コースの学生対象_質問項目一覧」

【法曹コースの学生対象】法曹コースの教育充実に関する調査

この度、文部科学省 令和4年度先導的₁大学改革推進委託事業「法科大学院等の教育の充実に関する調査研究」の一環として法曹コースに関するアンケート調査が行われることとなりました。つきましては、法曹コースの学生の皆様についても、アンケート調査へご協力いただきたく、次の通りご案内させていただきます。ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

1 アンケートの回答対象

下記のいずれかに当てはまる学生の皆様につきましては、アンケートへのご協力をお願いいたします。

- ・ 法曹コースにコース登録をしている学生
- ・ 法科大学院（既修者コース）へ特別選抜での進学を目指し、履修登録を行っている学生

2 アンケートの回答方法

アンケートのご回答は、以下QRコードまたはURLから、Webアンケートページにアクセスいただき、ご回答くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



<URL>

<https://questant.jp/q/HQR74FJO>

※回答期限：令和4年11月7日（月）

※重複してアンケートの依頼が届いている場合、一度のみ回答いただきますようお願いいたします。また、回答は途中で保存できませんのでご注意ください。

3 その他

本調査は文部科学省から委託を受け、株式会社ブレインアカデミーデータサイエンスセンターが実施いたします。ご不明点等があれば問合せ先までご連絡ください。

【本調査に関するお問合せ先】

株式会社ブレインアカデミー データサイエンスセンター

MAIL：info-ds@brainacademy.co.jp

TEL：03-6380-8255（月～金 10:00～17:00）

（担当者：金子・片岡）

② 法曹コースの学生対象のアンケート調査 質問項目一覧

質問番号	項目	質問文	選択肢
1	コース登録の有無	法曹コースの学生ですか。(※) ※法曹コースの学生とは下記1、2の何れかの学生を示しています。 1. 法曹コースにコース登録をしている学生 2. 法科大学院(既修者コース)へ特別選抜での進学を目指し、履修登録を行っている学生	①法曹コースの学生 ②法曹コース以外の学生 (「②法曹コース以外の学生」を選択した場合は、アンケート終了)
2	志望動機	法曹(裁判官、検察官、弁護士等)に興味を持ち始めた時期を選択してください。	①小学生以前 ②中学時代 ③高校時代 ④大学入学後 ⑤その他【】
3	志望動機	法曹(裁判官、検察官、弁護士等)に興味を持ったきっかけを選択してください。(複数回答)	①家族や知人に法曹関係者がいたため ②法律や法曹の業務について、本・テレビ・インターネット等で知り、魅力を感じたため ③法律や法曹の業務について、講演や授業等で、法曹から直接話を聞く機会があり魅力を感じたため ④自分のやりたいことを実現するために法曹になることが必要であると感じたため ⑤その他【】
4	志望動機	法曹コースへの志望理由として当てはまるものを選択してください。(複数回答)	①通常より短い期間で法科大学院の修了・司法試験の受験が可能のため ②法科大学院との一貫教育において高いレベルの教育が受けられると思ったため ③特別入試等により法科大学院までの進学がスムーズだと思ったため ④大学を早期卒業することで経済的な負担が軽減されるため ⑤法曹コースに受けた授業やプログラムがあったため ⑥その他【】
5	授業等の取組	法曹コースの授業を受けての感想や特に学びが多かった授業等についてその内容を記載してください。	自由記述
6	授業等の取組	授業以外における法律関連の学修の取組として参加したことのある取組を記載してください。(インターンシップ・勉強会・講演会等)また、その中で特に印象的な取組とその理由を記載してください。	参加したことのある取組:自由記述 特に印象的な取組とその理由:自由記述
7	現時点の満足度	現時点での法曹コースの満足度として当てはまるものを選択してください。	①非常に満足 ②満足 ③どちらとも言えない ④不満 ⑤非常に不満
8	現時点の満足度	満足度について、その理由を記載してください。	自由記述
9	授業の負担・学修量	法曹コースの授業(予習や復習を含む)に伴う学修量について選択してください。	①多すぎる ②多い ③適度 ④少ない ⑤少なすぎる
10	授業の負担・学修量	法曹コースの授業についていくことに対して難しさを感じていますか。	①感じている ②どちらかといえば感じている ③どちらかといえば感じていない ④感じていない
11	法曹コースに関する懸念	法曹コース登録時や法曹コースの学修が始まってから現在までにおいて、不安に思ったり、悩んだりしたことがあれば記載してください。	自由記述
12	法曹コースの認知	法曹コースについていつ頃知りましたか。	①大学進学前 ②大学1年次前半 ③大学1年次後半 ④大学2年次以降
13	法曹コースの認知	法曹コースについてどのように知りましたか。(複数回答)	①大学のガイダンスや履修案内 ②大学のパンフレット ③大学教員からの紹介 ④保護者や知人からの紹介 ⑤高校の先生からの紹介 ⑥テレビ・専門誌やインターネット上の情報媒体 ⑦その他【】
14	法曹コースの認知	法曹コースについて、いつ頃から進学を希望していましたか。	①大学進学前 ②大学1年次前半 ③大学1年次後半 ④大学2年次以降
15	今後の進路	法科大学院への進学は希望していますか。	①希望している ②希望していない ③未定

【法曹コース学生対象】

質問番号	項目	質問文	選択肢
16	基本情報	所属している大学および法曹コースの名称 ※法曹コース登録学生以外は法曹コースの名称の記載は不要です。	大学名: 法曹コースの名称:
17	基本情報	性別	①男性 ②女性 ③その他・答えたくない
18	基本情報	学年	①1学年 ②2学年 ③3学年 ④4学年
19	基本情報	現時点で希望している勤務地(複数回答)	①国内 ②海外
20	基本情報	現時点で希望している勤務先(複数回答)	①法律事務所 ②裁判所 ③検察庁 ④中央省庁 ⑤地方公共団体 ⑥民間企業(法務部門) ⑦民間企業(法務部門以外) ⑧非営利機関 ⑨その他【】
21	基本情報	奨学金や入学金及び学費免除等の経済的負担軽減のための制度利用	①利用している ②利用していない